STAGE EVOLUTION
LIGHTING EQUIPMENT SPECIALIST

ORION RGB

取扱説明書

Ver1.01

株式会社 サウンドハウス
〒286-0825　千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、ORION RGB をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ORION RGB は、60W の RGB　COB LED を搭載した LED パーライトです。音に反応してパターンが変わるサウンドモード、オートモード、DMX512 に対応し舞台やステージなど、様々なシチュエーションで使用することができます。

商品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書はいつでも読める場所に保管してください。

スペック

電圧	:	AC100V 50/60Hz
消費電力	:	78.5W
ヒューズ	:	250V 1A
LED	:	1 x 60W RGB COB LED
コントロール	:	DMX、SOUND、AUTO、マニュアルモード、MASTER/SLAVE モード
DMX チャンネル数	:	3 チャンネルモード、5 チャンネルモードより選択
寸法	:	25(W) x 39(H) x 20(D) cm
重量	:	3.5kg

使用上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は、本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本体は、必ず安全で、安定した場所に設定してください。電源ケーブルは踏まれたり、はさまれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続がすべて完了してから電源ケーブルをコンセントに接続してください。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクターを持って行ってください。
5. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。アース端子は必ず接地してください。
6. ディマーパックからの電源供給は行わないでください。
7. 本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は、屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
9. 周辺温度が 40 度を超える環境では、使用しないでください。
10. 本体は、壁から約 15cm以上離れた通気性の良い場所に設置し、布などを被せないようにしてください。また、感電や火災の原因になるため、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。
11. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や過度の湿気にさらさないようご注意ください。
12. 付属の電源ケーブルは、本製品専用です。本製品以外の電気機器では使用しないでください。
13. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。

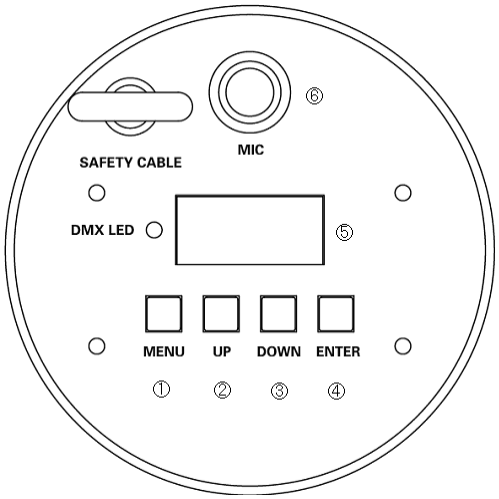
故障が生じた場合は、お手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

動作モードと機能

ORION RGB には、5 種類の動作モードがあります。I

・DMX モード　：DMX コントローラーを使用して、本体を制御することができます。
・Sound モード　：音楽に合わせて ORION RGB を単体で動作させる際に使用します。
・Autoモード　：内蔵されているプログラムを自動で再生します。
・Manual モード　：R、G、B各色の明るさを個別に調整します。
・Slave モード　：Auto モード、Sound モードの機器と接続することにより、複数の灯体を同期させることができます。

背面図



① メニューボタン
② アップボタン
③ ダウンボタン
④ エンターボタン
⑤ LED 表示機
⑥ サウンドモード用マイク

基本設定

オートモード

1. AP01～AP17 のいずれかが表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. AP01～AP17 のいずれかを表示させた後、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを使い、任意の値を選択したのち、ENTER ボタンを押します。
4. S000～S008 のいずれかの値が表示されます。
5. UP/DOWN ボタンを使い、任意の値を選択した後、ENTER ボタンを押します。

※AP01～AP17 は、内蔵プログラムの種類を、S000～S008 はプログラムの動作スピードを表します。

マニュアルモード

1. coLo と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
2. coLo と表示させた後、ENTER ボタンを押します。
3. r.000～r.008 のいずれかの値が表示されます。
4. UP/DOWN ボタンを使用して、任意の値に設定します。
5. ENTER ボタン押します。
6. g.000～g.008 のいずれかの値が表示されます。
7. UP/DOWN ボタンを使用して、任意の値に設定します。
8. ENTER ボタンを押します。
9. b.000～b.008 のいずれかの値が表示されます。
10. UP/DOWN ボタンを使用して、任意の値に設定します。
11. ENTER ボタンを押します。
12. F.000～F.008 のいずれかの値が表示されます。
13. UP/DOWN ボタンを使用して、任意の値に設定します。
14. ENTER ボタンを押します。

※ r.000～r.008 で赤の明るさ調整、g.000～g.008 で緑の明るさ調整、b.000～b.008 で青の明るさ調整、F000～F008 でストロボスピードの調整を行います。

サウンドモード

1. Soun と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. Soun と表示させた後、ENTER ボタンを押します。

DMX モード

3ch モード

1. 3-CH と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. 3-CH と表示させた後、ENTER ボタンを押します。

3ch モードで使用する場合、スタートアドレスは、1ch に固定されます。1ch で赤、 2ch で緑、3chで青の明るさを調整します。

5ch モード

1. A001～A512 のいずれかが表示されるまでMENUボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを使用して、任意の値に設定します。
3. ENTER ボタンを押します。

MASTER/SLAVE モード

1. SLAVE モードで使用する ORION RGB を、Sound モード、又は Auto モードに設定した ORION RGB と DMX のケーブルで接続します。
2. SLAVE モードで使用する ORION RGB の DMX アドレスを A001 に設定します。

DMX チャート

チャンネル	値	機能
1	000 – 255	赤 0 – 100%
2	000 – 255	緑 0 – 100%
3	000 – 255	青 0 – 100%
4	000 – 015 016 – 255	点滅なし 点滅（遅い→早い）
5	000 – 030 031 – 080 081 – 120 121 – 160 161 – 200 201 – 255	DMX モード マクロ カラーチェンジ カラーフェード カラースイッチ サウンドアクティブ
6	000 – 255	ディミング 0 – 100%

※4ch が 081～200 の場合、3ch はスピードの調整を行います。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。 ＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

■外側のレンズ ＜一週間に一度＞

レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

■**信号ケーブル、電源ケーブル差込口** ＜一ヶ月に一度＞

差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアーダスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

■**ネジ** ＜三ヶ月に一度＞

各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

ヒューズ交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の下にあるヒューズホルダーをプラスドライバーなどで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、以下をご確認ください。

症状	確認事項
電源が入らない	・ 正しい電源・電圧に接続されているか ・ 電源ケーブルが損傷していないか ・ ヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	・ 接続に問題がないか ・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか ・ DMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	・ 外部音が小さい音や高音でないか ・ マイク感度が低く設定されていないか
マスター/スレーブモードで動作しない	・ 接続された機器の内、1 台のみがマスターに設定されているか

上記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より１年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。